

## 沖縄県公安委員会定例会会議録

令和2年10月29日(木)、沖縄県公安委員会定例会において、沖縄県警察から次の事項について報告があり、これを受けて審議等を行いました。

### 今週のトピック

警察から、「広域緊急援助隊(警備部隊)の災害派遣に備えた航空自衛隊との合同訓練(車両搭載検証)の実施について」の報告がありました。

## 1 質疑等

### (1) 令和2年第6回沖縄県議会(9月定例会)結果について

警務部から「県議会9月定例会(本会議)における質問・答弁の状況、常任委員会(総務企画委員会)における補正予算議案、条例議案、陳情審査、特別委員会(米軍基地関係特別委員会)における審査等について」報告がありました。

公安委員から、「水上安全条例改正の進捗状況について」の説明を求められ、本部長から「有識者会議を立ち上げ、本年9月、10月に会議を開催したことを県議会でも答弁しており、11月中には有識者会議での提言を踏まえて、条例の改正案を取りまとめることとしている。最終的には2月県議会へ条例改正案を提出することとしている。」旨の説明がありました。

### (2) デジタルサイネージ(広報用ディスプレイ)による情報発信について

警務部から「本年10月1日から、警察本部1階エントランスホール内において液晶テレビ画面にポスター等を表示するデジタルサイネージ(広報用ディスプレイ)の運用を開始した。」旨の報告がありました。

公安委員から「デジタルサイネージは、多くの情報がきれいな画像で発信できる良い取組。警察署の雰囲気改善され、イメージアップにもつながる。今後は、庁舎外でも活用し、警察からの要望や要請などを呼び掛けることも検討し、警察行政をアピールしていただきたい。」旨の意見がありました。

### (3) ゲーム機使用による常習賭博事件の検挙について

生活安全部から前記事項について報告がありました。

公安委員から「当県は全国でもゲーム機使用店舗やパチンコ店が多いと聞いたことがある。ギャンブル依存症の問題などもあるので、引き続き、検挙活動を徹底していただきたい。」旨の意見がありました。

### (4) 「サイバーセキュリティに関する相互協力協定」の締結について

生活安全部から「令和2年10月9日に締結した『サイバーセキュリティに関する相互協力協定』について、協定の目的や締結式、協定内容、反響など」の報告がありました。

公安委員から「サイバー犯罪対策・セキュリティ対策は、外部の協力を得ることが重要。多くの企業に参加を求め、情報共有を行いながら課題解決を図っていただきたい。」旨の意見がありました。

さらに、公安委員から「この協定の締結後、官民協働での活動はどうか。」との質問があり、警察から「今後は、情報産業協会との連絡会のほか、同協会傘下の企業との協議会を開催するなど、情報共有を行っていく。また、過去に協定を締結している企業とは継続的に情報共有を行っている。」旨の説明がありました。

- (5) 本島中南部における成人男性2名による連続侵入盗事件の検挙について  
刑事部から前記事項について報告がありました。

公安委員から「防犯カメラ、科学捜査、共同捜査、手口分析など、プロの仕事として見事な解決である。」との意見がありました。

- (6) 新規直轄警察犬の購入配置について

刑事部から「これまで配置された直轄警察犬の保有頭数や過去5年間の出動件数、新規購入の直轄警察犬の紹介」について報告がありました。

公安委員から「新しく配置される警察犬が活躍できるよう大切に育成していただきたい。」旨の意見がありました。

- (7) 「令和2年度沖縄県警察本部長・沖縄県交通安全協会連合会長連名表彰」の伝達表彰について

交通部から「長年にわたり交通安全に功労のあった個人、団体、無事故・無違反の模範運転手などを対象とした『令和2年度沖縄県警察本部長・沖縄県交通安全協会連合会長連名表彰』は、新型コロナウイルス感染症対策のため、各警察署で伝達表彰を実施し、受賞者一覧は県警のホームページに掲載した。」旨の報告がありました。

公安委員から「交通安全に携わる方が、目に見える形で表彰されることはとても意味がある。受賞の喜びや苦勞している点について、デジタルサイネージを活用するなど、何らかの形で受賞を伝えることで、受賞者家族の誇りにもつながることになるので、検討していただきたい。」旨の意見がありました。

議題に関連して、公安委員から『交通少年団』の活動に関する質問があり、警察から「コロナ禍で活動が難しい中、名護署では子供たちが自主的に交通安全活動を行っており、八重山署では自転車の安全点検を実施している。来月には「高校生が自ら交通安全を考える実践交流会」が県立武道館で開催予定である。」との説明がありました。

- (8) 公務執行妨害事件被疑者の検挙について

警備部から前記事項について報告がありました。

- (9) 広域緊急援助隊(警備部隊)の災害派遣に備えた航空自衛隊との合同訓練(車両搭載検証)の実施について

警備部から「令和2年9月23日、航空自衛隊那覇基地内において実施した合同訓練」について報告がありました。

公安委員から「実際に車両を搭載して検証した訓練が行えたことは大変良かった。以前、防火対策で施設を視察した際、対策が行き届いているところは、具体的なイメージ

を想定して訓練がなされていた。具体的な想定の下、装備の確認、参加者の手順も含めた訓練や、夜間や悪天候時など様々な場면을想定した訓練も検討していただきたい。」旨の意見がありました。

#### (10) 要人警護の実施結果について

警備部から前記事項について報告がありました。

### 2 委員長意見

今、国を挙げて「デジタル化」に向けた動きがある。その方向性を認識して、悪しき習慣の打破など、沖縄県警も社会の動きに遅れないように、あるいは、先取りするくらいの心持ちで組織運営していただきたい。

### 3 本部長総括

本部長から「社会の動きに遅れないような組織運営をすべきとの御指導を委員長からいただいたところ、警察でも通常であれば幅広く、様々な部外の方々との接点の中で「気付き」を得る機会があるが、コロナ禍ではそのような機会が少なくなっている実情もあるため、報道などを注視していく必要があると考えている。

こうした中、県警察の対応を一つご紹介すると、デジタル化の動向で『脱はんこ』が求められており、行政手続きについては、警察庁において、押印を廃止することとしており、県警察も警察庁の指示のとおりに進めていくこととなる。一方、県警察独自の対応として、部内決裁について、既に他県に先んじて「電子決裁システム」が整備されていることから、今後は、原則的には全て電子決裁を行うこととする方向である。時期は、システムのリプレイスが行われる来年1月を目途としていきたいと考えている。」旨の総括がありました。

### 4 決裁・報告等(6件)

#### 運転免許課

- ・ 監督命令処分に対する改善結果について

#### 警備部

- ・ 警備情勢について

#### 広報相談課

- ・ 法定苦情の調査結果について

#### 生活安全企画課

- ・ ちゅらうちな—安全なまちづくり条例の一部改正について

#### 総務課

- ・ 公安委員会定例会会議録の作成について
- ・ 公安委員会定例会会議録等のホームページ掲載について

### 5 決定・裁定(1件)

#### 運転免許課

- ・ 自動車運転免許の行政処分について